

人事行政 市職員の人数・給与などの状況

「大崎市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、大崎市職員の任免、給与等について公表します。詳細については、市政情報センターや各総合支所・出張所、市の公式ウェブサイトでご覧いただけます。

人事課人事係 ☎ 23-2119



①平均給与月額等の状況（平成24年4月1日現在）

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	
市役所・水道部	行政職	333,223円	371,403円	45歳9月
	技能労務職	298,906円	315,552円	50歳5月
市民病院	医師	467,178円	1,284,653円	43歳8月
	医療技術系	254,100円	312,940円	35歳3月
	看護師系	273,334円	337,045円	38歳4月
	行政職	302,769円	368,966円	42歳2月
	技能労務職	239,784円	284,160円	37歳6月

※「給与」＝「給料」＋「手当」

②初任給の状況（平成24年4月1日現在）

職種	区分	初任給
行政職	大学卒	172,200円
	高校卒	140,100円
技能労務職	高校卒	137,200～183,700円
	中学卒	121,600～158,600円
医師	—	308,800円
医療技術系	—	140,300～200,800円
看護師系	—	153,300～198,300円

③期末・勤勉手当の状況（平成24年4月1日現在）

支給時期	期末手当	勤勉手当	計
6月期	1.225月分	0.675月分	1.9月分
12月期	1.375月分	0.675月分	2.05月分
計	2.6月分	1.35月分	3.95月分

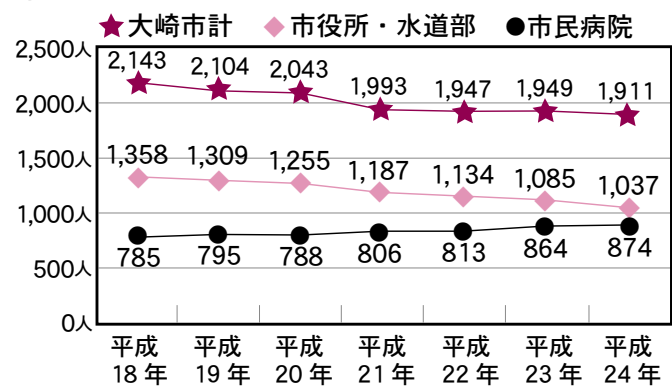


特別職の給料、報酬（平成24年4月1日現在）

区分	給料・報酬月額	期末手当(6月)	期末手当(12月)	期末手当計
市長	979,000円	1.4月分	1.55月分	2.95月分
副市長	785,000円			
教育長	644,000円			
病院事業管理者	628,000円			
常勤監査委員	518,000円			
議長	529,000円	1.4月分	1.55月分	2.95月分
副議長	458,000円			
議員	428,000円			



①職員数の推移（各年4月1日現在）



※職員数は、地方公務員の身分を有する休職者・派遣職員を含み、特別職（市長・議員など）、臨時・非常勤職員は含みません。

②職員の採用の状況（平成23年度中 単位：人）

区分	市役所・水道部			市民病院		
	男	女	計	男	女	計
行政職	9	3	12	2	1	3
医師	0	0	0	19	9	28
医療技術系	0	0	0	10	7	17
看護師系	0	0	0	4	58	62
計	9	3	12	35	75	110

③職員の退職の状況（平成23年度中 単位：人）

区分	市役所・水道部			市民病院		
	男	女	計	男	女	計
定年退職	23	15	38	5	16	21
勸奨退職	9	7	16	0	6	6
その他	9	1	10	31	32	63
計	41	23	64	36	54	90

※各数値は、必要に応じ「市役所」「水道部」「市民病院」に区分しています。このうち「市役所」には、教育委員会、議会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会などの各事務局が含まれています。

公平委員会からの報告事項

- 勤務条件に関する措置の要求 0件
- 不利益処分に関する不服申し立て 0件

復興に勇気を！大崎に元気を！

震災復興！女子ボクシング WBC ミニフライ級世界タイトルマッチ大崎大会

藤岡奈穂子 世界タイトルマッチ

藤岡奈穂子選手・世界タイトルマッチ大崎大会実行委員会事務局（教育委員会生涯学習課内） ☎ 72-5035

■日時 10月28日(日) 午後1時開場、午後2時試合開始

■会場 古川総合体育館

■試合内容（カッコ内は所属または国籍）

藤岡奈穂子(竹原&畑山) VS ヴィクトリア・アルゲッタ(メキシコ)

風神ライカ(竹原&畑山) VS ノンプレム・モントンジム (タイ)

宮城県登米市出身・キューピー金沢(青木)によるエキシビション2ラウンドスパーリング ほか

■料金

リングサイドS席(指定) 10,000円

リングサイドA席(指定) 5,000円

2階席(指定) 5,000円 2階席(自由) 3,000円

※当日料金は500円増

※障害のある人は無料(入場時に障害者手帳を提示、席は2階自由席)



■チケット販売場所

古川総合体育館、中央公民館、松山公民館、三本木公民館、鹿島台公民館、岩出山公民館、鳴子公民館、沼部公民館、教育委員会生涯学習課、秘書広報課、藤岡奈穂子後援会事務局「作造ハンバーグのみせ 竹乃や」、チケットぴあ



復興への思いを受け継ぎ走りました

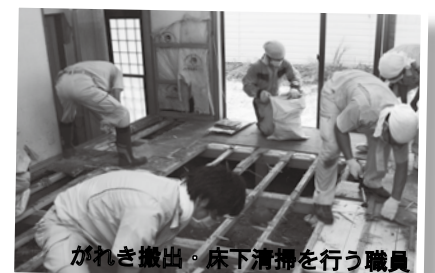
**全国の消防士が
つないだたすき**
被災した消防職員やその家族を応援するため、今年の三月十一日に鹿児島市を出発し、全国の消防士有志によりリレーされてきたたすきが、九月六日、黒川消防署から古川消防署に引き継がれました。
六日は十六人、翌七日は三十人の消防士が市内をリレーしながら走り、栗原消防署にたすきを届けました。
その後たすきは県内を回り、九月十一日に、ゴールの石巻広域消防本部へと無事届けられました。

復興応援団

八月二十一日から三十一日までの間、四十九人の職員が参加し、炎天下で精力的に活動しました。
沿岸地域も内陸部も、復興に向けて一歩ずつ歩んでいくことを実感する機会となりました。
参加者からは「今後も機会があれば積極的に参加したい」との声も多く聞かれました。

津波による被害の大きかった石巻市を大崎市の職員が訪れ、がれき処理や海岸清掃などの復興作業に従事しました。
八月二十一日から三十一日までの間、四十九人の職員が参加し、炎天下で精力的に活動しました。

市職員が沿岸部被災地へ



がれき搬出・床下清掃を行う職員